

## 発刊にあたって

根室市長  
長谷川 俊輔



根室市の漁業は、北方海域の豊かな水産資源を背景に、北洋漁業の開拓とともに発展を続けてまいりましたが、相次ぐ国際的な漁業規制の強化によって、沖合漁業の縮小を余儀なくされ、漁業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。

近年では、ロシアの資源管理強化が進み、対ロ漁業の先行きは不透明な状況が続いており、平成27年6月には「ロシア水域における流し網漁業禁止法」が成立したことにより、地域漁業の中核を担っておりますロシア200海里内でのサケ・マス流し網漁業の操業が禁止となり、水産物取扱量の多くをロシア水域に依存している本市にとって、戦後6度目の大打撃となりました。

対策本部の皆様とともに中央要請を重ねた結果、全体で百億円を超える国の補正予算が措置されたところであり、ここからが正念場であります。

市といたしましては、現在作業を進めておりますサケマス緊急対策事業について、市内4漁業協同組合や各関係機関と連携し、地域経済への影響緩和に努めるとともに、新たな取組みとして、海洋、漁業、加工流通分野などの学識者会議を設置し、沿岸漁業における新たな可能性について調査研究を進めるなど、持続可能な漁業を目指した各種取り組みを、昨年策定いたしました「根室市沿岸漁業振興計画」を指針に加速させてまいりたいと考えております

また、水産物の消費・流通動向は年々大きな変化を見せており、こうした変化に対応した根室産水産物の普及拡大が求められております。平成26年に設立をいたしました「ねむろ水産物普及推進協議会（愛称：まるごと根室）」の活動を通して、本市が誇る新鮮で良質な根室産水産物について、その魅力を最大限に活かしたPR活動をオール根室体制で展開してまいり所存であります。

この度、本市水産業の現状を紹介する「水産ねむろ」を発刊いたしました。本市の水産の姿をご理解いただき、今後ともお力添えをいただければ幸いです。

平成28年3月